

高齢者医療費の負担軽減を東京都に求める意見書

経済不況が都民生活を大きく圧迫し、高い保険料や医療費の負担によって、「安心して医療が受けられない」などの悲鳴が都民から出されている。保険料を払えず保険証を取り上げられた都民は3万人を超え（2006年）、医療にかかれず、重症化する状況が後を絶たない。

特に、高齢者の生活は、老年者控除の廃止や年金からの介護保険、後期高齢者医療制度の保険料などが天引きされ、その負担は一層深刻である。

そうした中で、東京都日の出町は、今年4月から75歳以上の後期高齢者医療の自己負担分を無料にし、「いつも年金の残りを勘定しながら生活している、医療費の無料化は助かる」などの声が出され、町民からは喜ばれている。

かつて東京都は、全国に先駆けて「老人」医療費の無料化を実現し、多くの高齢者から喜ばれていた。

よって、町田市議会は、東京都に対し、高齢者が安心して医療にかかれるよう高齢者医療費の助成を行い、負担軽減を行うべく、下記の事項を強く求めるものである。

記

1. 75歳以上の方の医療費窓口負担は無料にすること。
2. 65歳以上の方の医療費窓口負担を軽減すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。